

令和7年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン25)について

令和7年8月
防衛省

令和7年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン25) について

【訓練の目的】

陸上自衛隊及び米海兵隊等の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、**日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図るもの。**

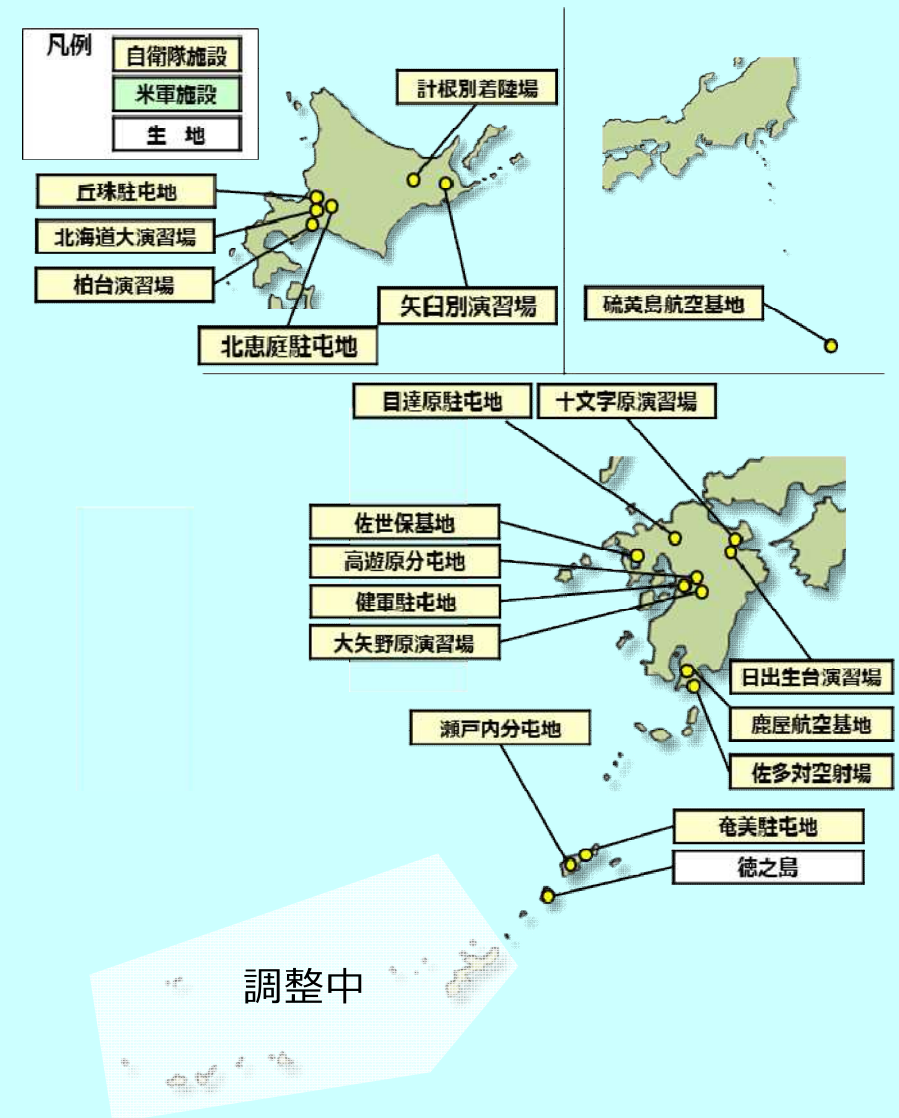
また、一部の訓練では、**島外避難に応用可能で国民保護や防災にもつながる訓練を実施します。**

【訓練の沿革】

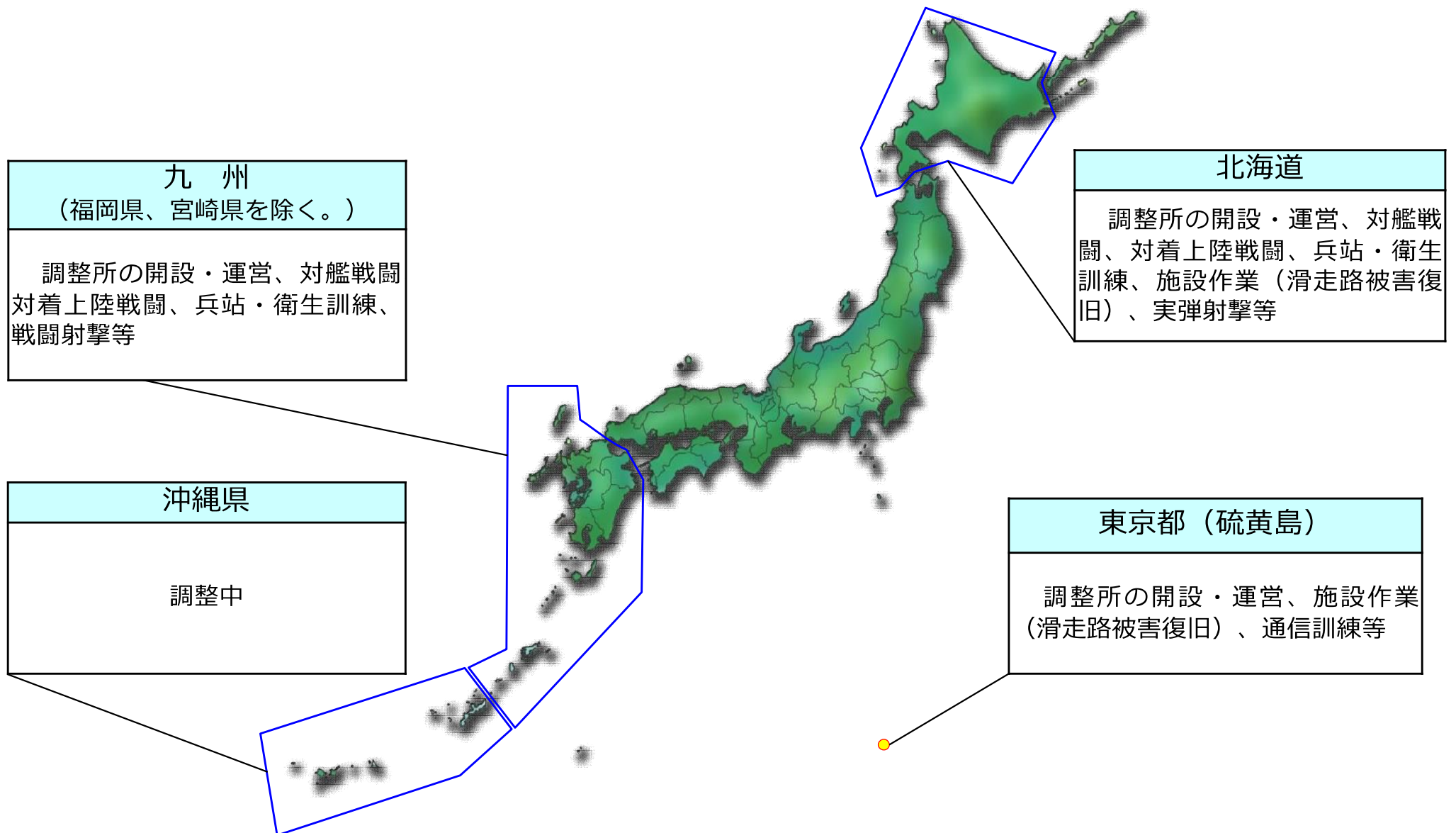
令和3年度に初めて実施し、本年度が5回目

【演習の実施場所及び期間】

- **演習期間：令和7年9月11日（木）～25日（木）**
(本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定)
- **演習実施場所：**北海道、東京都、大分県、佐賀県、長崎県、熊本県、
鹿児島県及び沖縄県の下記の場所
 - ・ **北海道：**陸上自衛隊北海道大演習場、陸上自衛隊北恵庭駐屯地、
陸上自衛隊矢臼別演習場、陸上自衛隊柏台演習場、
陸上自衛隊丘珠駐屯地、 航空自衛隊計根別着陸場
 - ・ **東京都：**海上自衛隊硫黄島航空基地
 - ・ **大分県：**陸上自衛隊日出生台演習場、陸上自衛隊十文字原演習場
 - ・ **佐賀県：**陸上自衛隊目達原駐屯地
 - ・ **長崎県：**海上自衛隊佐世保基地
 - ・ **熊本県：**陸上自衛隊健軍駐屯地、陸上自衛隊高遊原分屯地、
陸上自衛隊大矢野原演習場
 - ・ **鹿児島県：**陸上自衛隊佐多対空射場、海上自衛隊鹿屋航空基地、
陸上自衛隊奄美駐屯地、陸上自衛隊瀬戸内分屯地、徳之島
 - ・ **沖縄県：**調整中



レゾリュート・ドラゴン25における訓練内容等（基準）



海上自衛隊鹿屋航空基地の使用について

鹿児島県

海上自衛隊鹿屋航空基地においては、陸上自衛隊航空機及び米海兵隊航空機の航空基盤として、駐機、燃料補給、整備等を実施する計画です。

- 【期 間】 令和7年9月11日（木）～25日（木） ※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定
- 【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約100名（陸上総隊（第1ヘリコプター団）、V-22×4機程度等）
米 軍：米海兵隊、米海軍 約150名（第1海兵航空団、海兵航空支援部隊、MV-22×7機程度、P-8（対潜哨戒機）×1機程度等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



矢印は航空機の飛行経路を示したものではありません。

訓練イメージ



航空機の駐機



航空機への燃料補給・整備

佐多対空射場の使用について

鹿児島県

佐多対空射場においては、マリンレーダによる日米共同の沿岸監視訓練、NEWSを展開した電磁波訓練等を実施する計画です。

沿岸監視訓練及び電磁波訓練においては、実際に電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運行等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】 令和7年9月11日（木）～25日（木）※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定

【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約50名（第8師団、西部方面システム通信群、NEWS等）

米 軍：米海兵隊 約50名（第12海兵沿岸連隊、マリンレーダ等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



マリンレーダ※による沿岸監視訓練

※海上の船舶の探知を実施



NEWS※

※ NEWS
・ Network Electric Warfare System（ネットワーク電子戦システム）
・ 電波の収集・分析・妨害等を実施

奄美駐屯地の使用について

鹿児島県

奄美駐屯地においては、マリンレーダを使用した日米共同による沿岸監視訓練、米軍のオスプレイ及びヘリによる離着陸訓練を実施するとともに、日米両部隊の宿泊、入浴等の管理基盤として使用する計画です。

沿岸監視訓練においては、実際に電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運行等に影響しない周波数を使用します。

- 【期 間】 令和7年9月11日（木）～25日（木） ※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定
- 【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約50名（第8師団、マリンレーダ等）
米 軍：米海兵隊 約50名（第12海兵沿岸連隊、マリンレーダ、MV-22×1機程度、UH-1Y×1機程度、CH-53×1機程度等）
- 注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



マリンレーダ※による沿岸監視訓練



離着陸訓練（米UH-1Y）



米オスプレイ（MV-22）

瀬戸内分屯地の使用について

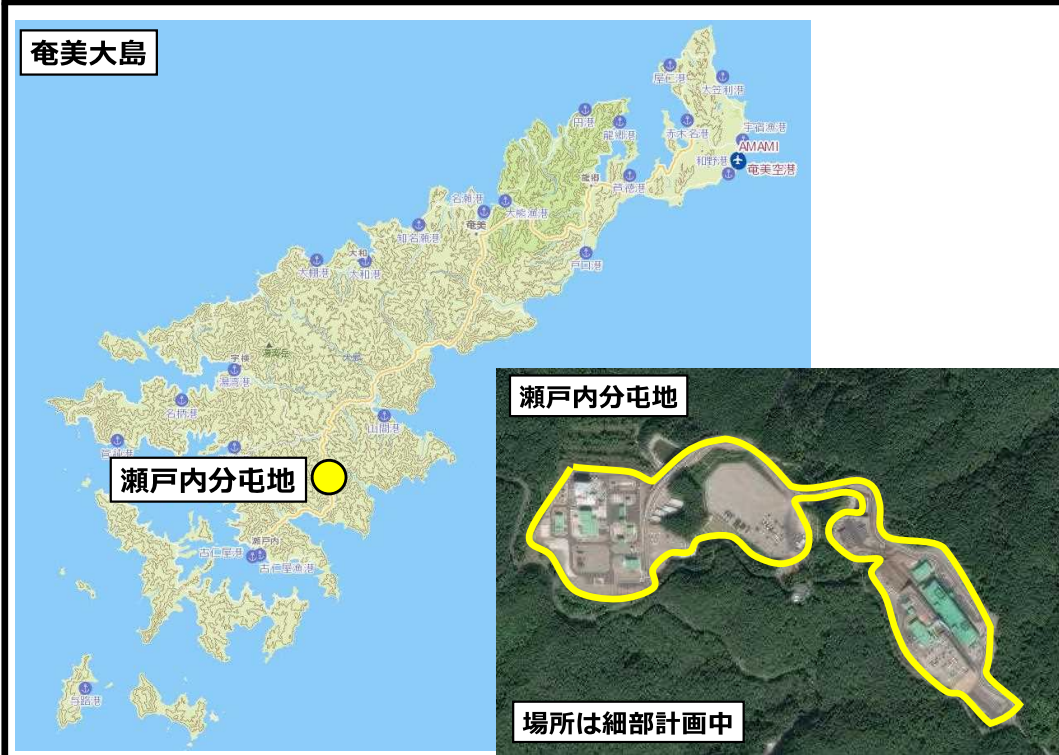
鹿児島県

瀬戸内分屯地においては、陸上自衛隊が**非実射による対艦戦闘訓練等**を実施する計画です。

【期 間】 令和7年9月11日（木）～25日（木） ※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定
【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約100名（第7地対艦ミサイル連隊、12式地対艦誘導弾等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



非実射による対艦戦闘訓練（12式地対艦誘導弾）

徳之島の生地使用について

鹿児島県

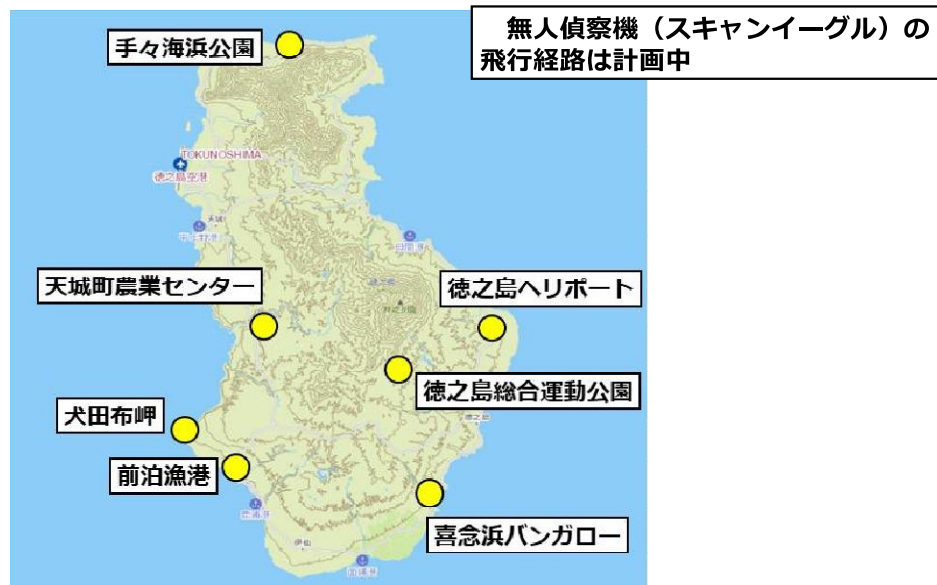
徳之島では、手々海浜公園、前泊漁港においては、日米共同でマリンレーダによる沿岸監視訓練等を、前泊漁港においては、米軍がALPV（半潜水型無人艇）を使用した物資輸送訓練等を、徳之島ヘリポート又は総合運動公園においては、米軍ヘリによる離着陸訓練を、犬田布岬においては、陸上自衛隊が無人偵察機（スキャンイーグル）の飛行による情報収集訓練を実施する計画です。

陸上自衛隊は天城町農業センターを、米軍は喜念浜バンガローを宿泊基盤として使用する計画です。

沿岸監視訓練においては、実際に電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運行等に影響しない周波数を使用します。

- 【期 間】 令和7年9月11日（木）～25日（木）※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定
- 【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約50名（無人偵察機（スキャンイーグル）等）
米 軍：米海兵隊 約50名（第12海兵沿岸連隊、マリンレーダ、ALPV（半潜水型無人艇）×1艇程度、UH-1Y×1機程度等）
- 注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



マリンレーダによる沿岸監視訓練

※海上の船舶の探知を実施



米軍ALPV（半潜水型無人艇）



無人偵察機（スキャンイーグル）



離着陸訓練（米UH-1Y）